



向陵広場

発行号 第103号

発行日 令和4年10月20日(木)

発行元 向陵編集校友会

責任者 伊藤有司 (県商10回卒)

「生徒一人ひとりに責任を持つ教育」 横山 貴美 県商 34 回卒 (昭和60年3月)



プロフィール

昭和 60 年 3 月	愛知県立豊橋商業高等学校	卒業
〃 4 月	愛知大学経営学部経済学科	入学
平成 元年 3 月	〃	卒業
〃 4 月	桜丘高等学校	教諭赴任
令和 4 年 4 月	〃	校長就任

教育にかける思い

教師になって三十数年、常に心掛けてきたことは「自分自身の高校時代を忘れない」ことです。時代が変わっても高校生の心身のあり方は変わりません。長年の教師生活で実感していることです。「こんな時、自分はどうだったかな」と思い出しながら、生徒と向き合い、寄り添い、愛情ある言葉かけるのが桜丘の教師スタイルです。

高校時代の思い出

私が高校生の時、世に云う 80 年代アイドルの全盛期、多くの女子高校生が「聖子ちゃんカット」でした。パソコンなどあるわけもなく、ワープロが流行り始めた頃でした。中学から新体操部だったので高校でも入部し、先輩が優しく練習にとっても前向きで、毎日楽しかったです。

勉強は頑張りました。特に商業科目は定期的に検定があるので、気を抜くとあっという間に置いて行かれるので、常に意識して取り組んでいたのを記憶しています。駅前横にはまだ西武百貨店があった時代なので、友達とよく地下街のたこ焼きを食べに行ったものです。こうして書いていると高校時代のいろんなことを思い出します。商業高校に進学する子は、すごく大人で自立していました。将来のことをしっかり見据えていて、尊敬できる仲間も沢山いました。仲間や時代に刺激を受けた3年間でした。

学校法人桜丘学園

桜丘学園はキリスト教の精神「信・望・愛」を理念として、大正15年に創立されました。その建学の精神は、今日まで脈々と受け継がれ、中学校・高等学校の教育目標のなかに息づいています。

